



2024年5月29日

各 位

会社名 株式会社アクアライン
代表者名 代表取締役社長 大垣内剛
(コード番号：6173 東証グロース)
問合せ先 取締役経営企画部長 加藤伸克
(TEL. 03-6758-5588)

第三者割当による新株式発行の資金使途の一部変更に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2023年10月24日付「株式会社イースマイルとの資本業務提携、並びに主要株主の異動に関するお知らせ」にて公表しました調達資金の使途について、下記のとおり一部変更することといたしましたのでお知らせいたします。

本来であれば、資金使途又は支出時期変更の必要性が発生した時点で取締役会にて決議した上で開示すべきところ、当該決議及び本件開示が遅延いたしましたことを深くお詫び申し上げます。

記

1. 変更理由

当社は、2023年10月24日付「株式会社イースマイルとの資本業務提携、第三者割当による新株式発行、並びに主要株主の異動に関するお知らせ」にて公表しましたとおり、当該第三者割当増資による調達資金107百万円（以下「本件調達資金」といいます。）について、当社が当時必要としていた加盟店及び協力店向け管理システム（コールセンターシステム及び販売管理システムの導入費用）に充当することを予定しておりました。

しかしながら、2024年4月15日付「貸倒引当金繰入額の計上及び業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」で公表しましたとおり、「水まわりサービス支援事業」の加盟店等に対する債権の回収が遅延していること、また、「水まわりサービス支援事業」及び「広告メディア事業」の業績が予想より下回ったことにより、収益状況が悪化し、資金繰りが厳しい状況が続きました。かかる状況下において金融機関からの追加融資を受けることもできず、2023年11月から2024年2月にかけて、本件調達資金を運転資金に使用せざるを得なくなりました。従って、支出予定時期であった2023年12月から2024年2月において資金使途の変更があったものと判断しております。

本来であれば、新規システム導入費用として調達した本件調達資金と当社の運転資金は、口座を分別するなどして混在させないように管理すべきところ、かかる管理ができておらず、結果的に本件調達資金を運転資金に充当しているという事実の認識が遅れることになりました。加えて、当社においては、かかる資金使途の変更を行う場合には適時に開示しなければならないという認識についても不足しており、本件開示が遅れることとなりました。

2. 変更の内容

変更内容は下記のとおりです。(変更箇所は下線で示しております。)

(変更前)

具体的な用途	金額 (百万円)	支出予定時期
① <u>設備資金 (コールセンター等システム導入費)</u>	<u>107</u>	<u>2023年11月～2024年2月</u>
② <u>運転資金</u>	<u>222</u>	2023年11月～2024年2月

(変更後)

具体的な用途	金額 (百万円)	支出予定時期
① <u>運転資金</u>	<u>329</u>	<u>2023年11月～2024年2月</u>

3. 今後の見通し

本件変更に伴う当社の2025年2月期の業績予想に与える影響はございませんが、今後の業績に与える影響について開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以上